

## 再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道防災課  
担当課長名：深澤 淳志

|   |                                      |   |  |                     |
|---|--------------------------------------|---|--|---------------------|
| <b>事業名</b> 地域高規格道路 上越魚沼地域振興快速道路<br>一般国道253号 八箇峠道路   | <b>事業区分</b>                          | 一般国道  | <b>事業主体</b>  | 国土交通省<br>北陸地方整備局    |
| <b>起終点</b><br>自：新潟県十日町市八箇<br>至：新潟県南魚沼市余川  |                                      |   |  | <b>延長</b> 9.7 km    |
| <b>事業概要</b> 国道253号八箇峠道路は、「通行規制区間や交通の難所である「八箇峠」の交通障害の解消」や「十日町生活圏・南魚沼生活圏の地域の活性化の支援・一体的な圏域形成」、「地域の発展」等を目的とした延長9.7kmの直轄権限代行による改築事業である。  |                                      |   |  |                     |
| H12年度事業化  |                                      | 都市計画決定：－  |  | H13年度用地着手           |
| 全体事業費   |                                      | 440 億円  |  | 事業進捗率               |
|   |                                      |   |  | 41 %                |
| 計画交通量   |                                      | 5,100 ~ 9,700 台/日   |  | 供用済延長               |
|   |                                      |   |  | 0 km                |
| <b>費用対効果分析結果</b>  | B/C<br>(事業全体)<br>1.4<br>(残事業)<br>2.5 | <b>総費用</b> (残事業)/(事業全体)<br>249 / 439 億円<br>(事業費：220/410 億円)<br>(維持管理費：29/29 億円) | <b>総便益</b> (残事業)/(事業全体)<br>626 / 626 億円<br>(走行時間短縮便益：425 / 425 億円)<br>(走行経費減少便益：167 / 167 億円)<br>(交通事故減少便益：34 / 34 億円) | <b>基準年</b><br>平成21年 |
| <b>感度分析の結果</b> 残事業について感度分析を実施<br>交通量変動：B/C=2.8(交通量+10%) B/C=2.3(交通量-10%)<br>事業費変動：B/C=2.3(事業費+10%) B/C=2.8(事業費-10%)<br>事業期間変動：B/C=2.4(事業期間+20%) B/C=2.6(事業期間-20%)   |                                      |   |  |                     |
| <b>事業の効果等</b>   |                                      |   |  |                     |
| ①特産品の物流効率化・産業活性化を支援<br>・十日町市の特産品は「えのきたけ」、南魚沼市の特産品は「まいたけ」となっており、全国生産量の10%、25%を占め、全国的にも主要な生産地となっている。<br>・特産品の物流効率化・産業活性化を支援する。  |                                      |   |  |                     |
| ②現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消<br>・線形の悪い隘路区間であり大型車のすれ違いが困難<br>・特に冬期間は堆雪により幅員が狭められ冬期の車両すれ違いが困難  |                                      |   |  |                     |
| ③主要な観光地へのアクセス向上<br>・十日町市、南魚沼市は多くの観光資源に恵まれている。<br>・観光客数の増加や地域の活性化が期待される。   |                                      |   |  |                     |
| ④三次医療施設へのアクセス向上<br>・三次医療施設となる魚沼基幹病院が平成27年に開院を目指している。<br>・救命救急機関60分圏域カバー人口は約3,372人増加する。<br>・八箇峠道路整備により二次医療施設へのアクセスが向上(時間短縮による受益人口127人)【約0.3億円※】  |                                      |   |  |                     |
| ⑤事前通行規制区間、冬期交通障害区間を解消<br>・現道の通行止め時は約4.3倍の迂回時間が必要<br>・地域の日常生活や経済活動への影響を軽減【約1億円※】<br>・魚沼・十日町地区は、日本有数の豪雪地域<br>・線形不良区間および急勾配区間で旅行速度が著しく低下<br>・冬期間のスムーズな交通の確保【約20億円※】  |                                      |   |  |                     |
| ※は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)   |                                      |   |  |                     |
| <b>関係する地方公共団体等の意見</b>   |                                      |   |  |                     |
| 地域から頂いた主な意見等：<br>・八箇峠道路は、地域の利便性を高め、物資の流通等、観光・経済・文化・スポーツの交流を活発にする路線として期待されており、十日町市長や津南町長から早期整備の要望を受けている。<br>・八箇峠道路は、全国有数の豪雪地帯である当該地域にとって、災害時や異常気象時に欠くことの出来ない道路であり、上越魚沼地域振興快速道路「十日町・六日町間」整備促進協議会から早期整備の要望を受けている。<br>・八箇峠道路は、一般通行規制区間や線形不良などの解消を図るため、中越地区国道事業促進協議会より早期整備の要望を受けている。 |                                      |   |  |                     |
| <b>県知事の意見</b> ：<br>・事業評価にあたっては、救急搬送の時間短縮や冬期交通障害の解消など関係市町村の意向を十分反映し、事業継続として頂きたい。<br>・ただし、高規格幹線道路の延伸や4車線化も地域交通に大きな影響を与えるものであり、今後の高速料金施策(無料化)の実施状況によっては、別途、地域において合意をとりながら優先度の再検討も可能と   |                                      |   |  |                     |

考える。

事業評価監視委員会の意見

・審議した結果、再評価及び対応方針（原案）の「事業継続」は妥当である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

平成17年までの市町村合併により新たな十日町市、南魚沼市となり、当該事業は新市の地域高規格道路として、広域幹線ネットワークの強化、信頼性の向上が期待される。また、当該地域では地域医療の高度化に向けて第三次救急医療施設「魚沼基幹病院（仮称）」の平成27年開院を目指している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

事業の進捗状況：平成21年度末（予定）までの投資額179億円。進捗率41%。

残事業の内容：用地未買収区間の用地買収と埋蔵文化財の調査、及び全線の工事。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

八箇IC～野田ICまでは全面展開で工事中であり、八箇IC（仮称）～野田IC（仮称）までの早期供用を目指している。また、関越自動車道交差部～終点の用地を買収後、野田IC～終点までの工事を行い早期の供用を目指している。

施設の構造や工法の変更等

当該事業箇所は、切土区間も多く約3kmの延長のトンネルもあり、その掘削残土が発生する。残土を本事業の盛土等に転用しコスト縮減に努めている。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及びコスト縮減等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。